

令和3年度 教育委員会 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源				
<p style="text-align: center;">教育次長 尾副 幸文</p> 	<p>●使命 私たち教育委員会は、市長と教育委員会で構成する総合教育会議において、令和3年4月に策定された「瀬戸内市教育大綱」の重点施策を柱とし、瀬戸内市の教育の一層の充実に向け、令和3年度瀬戸内市の教育に基づいた諸施策を実施します。</p> <p>●基本方針 瀬戸内市教育大綱 重点1 「確かな学力、豊かな心、健やかな体の子どもの育成」 重点2 「子育て・保育・教育を通して子どもの成長を社会総がかりで支援」 重点3 「生涯にわたり学びあう市民への効果的支援」 重点4 「健康で活力に満ちた地域社会の形成」</p> <p>以上、4つの重点施策の推進に当たっては、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係機関と連携を図りながら、市民の期待に応えるよう教育行政を推進していきます。</p> <p>(重点5「歴史・文化の保存・継承と活用の推進」の事業は、令和2年度から市長部局の文化観光部へ)</p>	所管課	総務学務課・社会教育課・公民館 図書館・学校給食調理場			
		人 員	正職員	66人	会計年度任用職員(臨時的任用職員含) 173人 (うち臨時的任用職員1名)	合計 239人
			一般会計	3,396,990 千円		
		特別会計	千円			
		計	3,396,990 千円			
		(うち人件費)	(801,057 千円)			

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1 魅力ある学校施設の整備と学習環境の改善を図ります。	<p>学校施設整備 老朽化が進み、大規模改造や老朽改修が必要となっている学校が多くなっているため、緊急性に応じて計画的に実施します。さらに、学校施設長寿命化計画に基づき、バリアフリー化や省エネルギー化等も含めた施設整備を推進します。</p>	<p>行幸小学校校舎大規模改造第Ⅱ期工事を年度内に完了するように工事を進めます。</p>	<p>9月末現在、外壁の改修を中心に進めており、進捗率は24%で、概ね計画どおりに進んでいます。</p>	<p>3月中旬の完成に向けて、内装の仕上げ工事や、家具・器具類の取付工事を順次行っています。</p>	<p>3月にⅡ期工事が完成しました。</p>
		<p>国府小学校校舎大規模改造第Ⅰ期工事を年度内に着手させ、令和4年度末の竣工に向けて工事を進めます。</p>	<p>仮設校舎の設置を8月末までに終わりました。またⅠ期工事の発注を終え、現在、工事の着手に向けて準備をしているところです。</p>	<p>10月下旬からⅠ期工事に着手しました。1月末の進捗率は31%で概ね計画どおりに進んでいます。</p>	<p>3月末の進捗率は約54%で概ね計画どおりに進んでいます。現在、外壁の改修や建具の取付け等を中心に計画的に工事を進めています。</p>
	<p>学校トイレ環境整備 幼稚園・小・中学校の園児・児童・生徒が使用するトイレについて、未改修の園校に、様式化などの整備を施し、衛生面での質の向上を図り、園・学校環境の改善を図ります。</p>	<p>設計： 国府幼Ⅰ期、行幸幼Ⅰ期、牛窓北小Ⅰ期、邑久小Ⅱ期、裳掛小Ⅰ期、美和小Ⅰ期 工事： 邑久幼Ⅰ期、牛窓西小Ⅰ期、邑久小Ⅰ期、今城小Ⅰ期 上記の計画を順次進めて行きます。</p>	<p>現在、実施設計業務の発注準備を進めています。 工事については、牛窓西小、邑久小、今城小、牛窓中のⅠ期工事を7月末から着手し、概ね完成しました。</p>	<p>11月上旬から実施設計を開始し、設計作業を行っています。 工事については、牛窓西小、邑久小、今城小、牛窓中のⅠ期工事を10月上旬に完成しました。</p>	<p>計画どおり実施設計を3月末に終わりました。 邑久幼Ⅰ期工事の完成は令和4年度に変更しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
<p>児童生徒に安全で安心な給食を提供し、食育を推進します。</p>	<p>学校給食調理場統合整備 老朽化が進んでいる牛窓学校給食調理場を廃止し、邑久学校給食調理場に統合します。</p> <p>食育の推進 給食時指導等により食育を推進します。</p>	<p>令和3年度に邑久学校給食調理場の増改築工事の基本設計・実施設計を完了し、令和5年度に増改築工事を実施するとともに、調理食数増加の対応を行うため、調理機器の更新を行います。</p> <p>給食時指導や給食だより等により、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけてもらい、食にかかわる人々への感謝の気持ちを育むよう指導します。</p>	<p>9月末に基本設計が終了しました。新たに地質調査の実施が必要となったため、実施設計の終了が令和4年5月末となりました。調理機器の更新についてはリスト作成が終了しました。</p> <p>栄養教諭が学校からの要望を受け、給食時指導や授業に赴き、食育指導を行っています。</p>	<p>1月末で地質調査が完了しました。実施設計については邑久調理場の現地調査が完了しました。</p> <p>栄養教諭の給食時指導や授業、毎月の給食だよりの発行を行っています。1月の給食週間中は、「本に出てくる料理」を題材にした給食を提供しました。</p>	<p>実施設計は、令和4年5月末の完了に向け継続中です。</p> <p>栄養教諭の給食時指導や授業及び毎月の給食だよりの発行を行い食育等を進めました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>就学前から義務教育まで、一人ひとりの子どもの状況を把握して、必要とされる資質や能力を育みます。</p> <p>園児児童生徒の自立支援 個々の子どもの課題や状況を把握し、関係各課、各機関と連携しながら早期からの継続した指導・支援を行います。</p> <p>学力向上のための事業の充実 教職員研修の充実によって、子どもたちに必要な力を育みます。</p> <p>地域学校協働活動の推進 各小・中学校に設置している協働本部で取り組んでいる地域学校協働活動を継続して推進するとともに、実施体制の強化を図ります。</p> <p>家庭教育の推進 子育てや成長など、子どもに関わる様々な悩みや課題を和らげるための事業を関係部署と連携して実施します。</p>	<p>小中学校における不登校の出現数を前年度より10%減らし、社会的な自立に向けた状態改善をめざします。特別支援教育を推進する研修、授業公開等を5回以上実施します。</p> <p>自己肯定感をもち、学びを自分で計画する児童生徒を8割以上にします。</p> <p>活動のキーパーソンとなる地域学校協働活動推進員及び学校教職員のスキルアップを図るため、資料の提供及び情報を共有します。</p> <p>子育て支援センター・幼稚園や市内ファシリテーターなどと連携して、親育ち応援学習プログラム(親プロ)学習会や養成講座を実施します。</p>	<p>不登校者数は9月末現在の前年度比で小学校は微増、中学校は微減です。特別支援教育に関する研修会を3回実施しました。</p> <p>自己肯定感をもち児童生徒は約8割です。計画的な家庭学習は小学生の約8割、中学生の約7割が実施しています。</p> <p>研修会の案内及び、研修資料、活動事例等の情報提供を随時行い、各地域学校協働本部の実施体制の強化を図っています。</p> <p>子育てに関する情報提供(非認知能力等)を行い、親育ち応援学習プログラムは、参集型にこだわらない形の学習内容を提示し実施体制を整えています。</p>	<p>不登校者数は1月末現在の前年度比で小学校は増加、中学校は減少しています。特別支援教育や幼小連携についての研修を4回実施しました。</p> <p>計画的な家庭学習は、小学生の約7割、中学生の約6割が実施し、予習については、学年が上がると減少傾向が見られます。</p> <p>随時、研修の案内、研修資料・活動事例等の情報提供を行いました。年度末には各協働本部の活動をまとめ、資料として提供する予定です。</p> <p>園が、コロナ禍の影響により行事を自粛したため、親育ち応援学習プログラムの計画はすべて次年度に持ち越しました。非認知能力等に関する子育て情報提供を年度末までに予定しています。</p>	<p>不登校者数は小学校で10%超の増加、中学校で10%の減少で自立支援室の取組成果が見られました。4回の研修では、オンライン実施もありさらなる連携強化につながりました。</p> <p>自己肯定感について小学6年から中学3年の約8割が肯定的な回答をし、令和2年度よりも増加しています。</p> <p>コロナ禍のため計画していた研修会等は実施できず、資料提供を行いました。</p> <p>コロナ禍のため計画していた養成講座等は実施できず情報提供を行いました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	<p>生涯学習機会の更なる充実を図るため、市民の学習ニーズを把握しながら、社会教育施設がそれぞれ機能を高めるとともに連携を図り、事業を推進します。</p> <p>市民が主体となる文化芸術を通じて、瀬戸内市の良さを発信する。また、市民のシビックプライドを醸成することを目的とし、中央公民館を拠点とした学習の成果発表や、市民の企画事業などによって、瀬戸内市の文化芸術の発展につなげていきます。</p> <p>中央公民館、牛窓町公民館、長船町公民館が地域の特色を活かした持続可能な学習の拠点となり、身近な地域資源を市内外に情報発信し、多様な学習機会の提供を行います。</p> <p>図書館との連携事業では、公民館や図書館に来館された市民が気軽に参加することができる事業を実施します。</p> <p>郷土資料などの地域の文化資源を図書館及び中央公民館で展示します。</p>	<p>公民館と文化があふれるまちづくり委員会が中心となり、コロナ禍での対策を徹底した上で、市民が企画した事業などを実施します。また、委員会主催イベントを年10回以上開催します。事業の参加人数3,000人を目指します。</p> <p>菊づくり講座や海岸生物の現状調査の主催講座など公民館主催事業を実施します。参加人数15,000人を目指します。また、次世代の担い手となる世代を対象とした体験型の文化芸術事業を年2回実施し、参加延べ人数200人を目指します。</p> <p>図書館との連携を目的に、オリーブの庭を活用したイベントやせとうちまー号を利用した事業を年2回以上実施します。来館者が身近な郷土に関心をもつことを目的とし、虫明焼などの地元ゆかりのある文化資源などの展示を年4回以上実施します。</p>	<p>コロナ禍の影響で休館となり、事業への影響はあるが、実施に向けて内容を精査し、日程調整しています。文化の種まき応援事業については採択事業が決定され実施に向けて進めています。</p> <p>公民館主催講座については、コロナ禍の影響により延べ2か月の休館を余儀なくされた為、開催されませんでした。現在、菊花展については、10月17日の開幕に向けて準備を進めています。その他の講座や図書館との連携事業についても、中止や変更、又は新規事業を取り入れた計画の見直しを行っている状況です。</p> <p>展示の状況は、4月～虫明焼親子展、7月～大原・東原二人展、8月～神戸日本画展、10月～大原桂南展を実施済及び実施中です。</p>	<p>子どもや保護者を主対象とした芸術文化体験型イベント「親子de文化祭」を開催し、延べ1,025人が来場しました。呂久高校美術部や寒風陶芸会館、ラデック氏、奥田雄山氏などと楽しく真剣に体験する姿が見られました。</p> <p>呂久町大賀島地区の歴史を学びアサギマダラの蝶を観察するウォーキングや、オリーブ収穫体験講座、菊づくり講座など地域の特色を活かし主催講座を開講しました。</p> <p>オリーブの庭で親子de文化祭のキッズダンスとドローンの体験コーナーを設営しました。中央公民館では石井十次展や奥田雄山展、牛窓町公民館では牛窓の歴史を写真で振り返る企画展「牛窓物語」を開催しました。</p>	<p>文化があふれるまちづくり事業において委員会主催のイベントはコロナ禍の影響で、年5回の開催にとどまりました。また、事業全体の参加人数は、3,541人となりました。</p> <p>菊づくり講座などの公民館主催事業は、コロナ禍により事業数が減少しましたが、延べ19,033人の参加がありました。また、体験型の文化芸術事業は年4回の開催ができましたが、参加延べ人数は159人でした。</p> <p>オリーブの庭を利用した共催事業や、せとうちまー号を活用した事業など年3回実施しました。地元ゆかりのある文化資源の展示は虫明焼親子展のほか18回の展示の実施できました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>美術館等との連携事業では、研修室で日本画教室を実施するとともに企画展の対話型鑑賞会も実施します。</p> <p>地域の身近な課題を解決するための事業や地域の振興につながる事業を関係部署と連携して実施します。</p> <p>地域の情報拠点整備 まちづくりに役立つ地域の情報拠点として十分に機能するため、「瀬戸内市立図書館サービス計画」に沿って、多くの市民が利用できる図書館サービスの充実を図ります。</p>	<p>岩絵の具で描く貴重な体験を目的とし、美術館等と連携した日本画教室の参加人数30人を目指します。</p> <p>災害時に危険が予想されている地域において、防災・減災について体験型の学習機会を確保し、地域住民の参加人数30人を目指します。</p> <p>全館の登録率54%、実利用率を18.5%、貸出冊数を約334,000冊（住民1人当たり貸出冊数を9冊）とします。</p>	<p>日本画教室については、休館のため11月14日に日程を変更し、開催の準備を進めています。</p> <p>防災の体験型学習については、令和4年2月に向けて関係者等と内容及び日程について調整中です。</p> <p>全館の登録率は54.2%、貸出冊数は121,811冊（住民1人当たり貸出冊数3.3冊）となっています。</p>	<p>日本画体験講座では瀬戸内市立美術館と連携し、描画後に企画展「隠崎隆一の陶芸」を見学しました。</p> <p>正副委員長会で危機管理課を交えて協議した結果、高齢者が多く集まるため、今年度の防災体験型学習は中止となりました。</p> <p>全館の登録率は54.9%、貸出冊数は238,347冊（住民1人当たり貸出冊数6.4冊）となっています。</p>	<p>美術館等と連携した日本画講座は、2回実施しましたが、コロナ禍の影響で参加人数は26人でした。</p> <p>防災・減災についての体験型の学習はコロナ禍の影響で中止になりましたが、岡山県立記録資料館から牛窓地内の災害状況写真の収集が出来ました。</p> <p>全館の登録率は55.4%、新型コロナウイルス感染症対策の臨時休館が影響し、実利用率は16.2%、貸出冊数は295,631冊（住民1人当たり貸出冊数8.0冊）となりました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>市民の健康づくりや体力づくりのため、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、活動の場所と機会の提供を行います。</p> <p>スポーツ推進計画の見直し 平成29年度に策定したスポーツ推進計画の前期5か年が終了するため、前期の事業評価を実施し、諸情勢や市の状況の変化等に対応した見直しを行います。</p> <p>邑久スポーツ公園改修工事 令和2年度の改修実施設計に基づき、冒険の森が自然の中で外遊びを楽しめる公園となるよう改修工事（第Ⅰ期）を進めるとともに、市民の定期的、継続的なスポーツ活動を行う場の整備の1つとして、野球場周辺の整備を行います。また、市内社会体育施設の照明器具を環境負荷が少なく長寿命のLEDに交換します。</p>	<p>スポーツ施策の達成状況等の評価を行うため、12月を別途に住民アンケートの実施・集計を行います。また、スポーツ推進審議会において計画案の検討を行い、3月末の完成を目指します。</p> <p>基盤整備等の第Ⅰ期工事及びトイレ・ミーティングルームの改修工事を完了させ、並行して第Ⅱ期工事に向けた準備を進めます。 照明器具のLED化については、12月末までの完了を目指します。</p>	<p>「瀬戸内市民のスポーツ活動等に関する調査」を実施。市内2,000件及び市内小中学校児童生徒アンケートを8月中に終了しました。 回収率（有効回答） 一般：38.1% 中学生：85.8% 小学生：72.8%</p> <p>基盤整備等の第Ⅰ期工事の入札を行い、事業者を決定し契約を締結しました。また、照明器具LED化のための公募型プロポーザルを行い、最も効果をもたらすと思われる候補者を決定しました。</p>	<p>11月29日にスポーツ推進審議会への諮問を行いました。また、答申を踏まえ素案の修正を行いました。</p> <p>冒険の森の構造物撤去、敷地造成及び給水・電気設備設置等の第Ⅰ期土木工事を進めています。また、冒険の森トイレ、野球場トイレ及びミーティングルームの工事入札に向けた準備を行いました。 照明器具のLED化については、12月に取替え作業が完了しました。</p>	<p>3月に計画の見直しが完了し、関係者へ周知を行いました。</p> <p>冒険の森の基礎部の地質調査を行ったところ、軟弱な地盤が確認されたため、改修工事を令和4年度まで工期を延長しました。また、冒険の森トイレ、野球場トイレ及びミーティングルームは、工事発注のための入札を行いました。 照明器具のLED化は完了し運用しています。</p>